



2025年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
 コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鮫島 光
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 三好 貴志 (TEL) 03-6742-8550
 定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	1,036,171	12.4	157,668	12.5	154,574	9.8	116,978	10.0	116,978	10.0	106,802	△58.7
2024年3月期	921,863	12.4	140,096	19.4	140,829	21.3	106,374	19.1	106,374	19.1	258,816	46.7

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	79.01	78.99	8.7	8.4	15.2
2024年3月期	71.50	71.47	8.7	8.2	15.2

(参考) 持分法による投資損益 2025年3月期 △470百万円 2024年3月期 △20百万円
 調整後営業利益 2025年3月期 203,445百万円 2024年3月期 156,785百万円

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「基本的1株当たり当期利益」及び「希薄化後1株当たり当期利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	1,828,393	1,368,535	1,368,535	74.8	927.85
2024年3月期	1,831,402	1,327,090	1,327,090	72.5	893.80

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり親会社所有者帰属持分」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	210,802	△82,481	△108,766	221,872
2024年3月期	146,330	△81,472	△62,079	204,883

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00	32,715	30.8	2.7
2025年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	38,468	32.9	2.9
2026年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		30.9	

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2024年3月期につきましては、当該株式分割前の配当金を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,050,000	1.3	214,000	5.2	194,000	23.0	143,000	22.2	96.95

・通期業績予想前提レート：1ドル=140円、1ユーロ=160円

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 - 社 (社名) -、除外 - 社 (社名) -
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	1,480,559,680株	2024年3月期	1,490,697,280株
2025年3月期	5,608,213株	2024年3月期	5,930,404株
2025年3月期	1,480,540,916株	2024年3月期	1,487,841,999株

(注) 2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結財政状態計算書	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(連結損益計算書)	9
(連結包括利益計算書)	10
(3) 連結持分変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(非金融資産の減損)	17
(重要な後発事象)	18
4. その他	19

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当社グループでは、2021年12月に次の5カ年を対象とする成長戦略を策定しました。高齢化社会における慢性疾患との共生や患者さんのQOL向上、ゲノム医療とAIの進化による個別化医療の進展といった、医療のパラダイムシフトに対応するための中長期ビジョンとして「デバイスからソリューションへ」を掲げました。製品軸から顧客軸へフォーカスを移し、医療のエコシステム全体とより積極的にかかわることで、顧客の課題に複合的なソリューションを提案できる企業を目指して経営を推進しています。5カ年成長戦略の3年目となる当期の連結業績は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
売上収益	921,863	1,036,171	12.4	8.6
売上総利益	479,174	560,670	17.0	12.0
調整後営業利益	156,785	203,445	29.8	20.3
営業利益	140,096	157,668	12.5	3.1
税引前利益	140,829	154,574	9.8	-
当期利益	106,374	116,978	10.0	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	106,374	116,978	10.0	-

当期の地域別売上収益は以下のとおりです。

（単位：百万円）

地域	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
米州	327,982	395,653	20.6	15.5
欧州	191,498	218,287	14.0	8.6
中国	79,412	84,968	7.0	2.0
アジア他	111,847	120,054	7.3	3.7
海外計	710,742	818,964	15.2	10.3
日本	211,121	217,206	2.9	2.9
合計	921,863	1,036,171	12.4	8.6

2025年4月1日付で、心臓血管カンパニーの一部事業名称の変更並びに血液・細胞テクノロジーカンパニーの開示セグメントの変更を行いました。事業名称の変更は、各事業がグローバルで展開するビジネスブランドと事業名称の統一を目的としたものであり、各事業で取り扱う製品やサービスに変更はありません。また、開示セグメントの変更は、2024年に実施した組織変更の反映に伴うものです。

<売上収益>

売上収益は、前期比12.4%増の1兆362億円となりました。グローバルで医療需要の拡大が継続し、米州を中心に海外で主要ビジネスが成長、為替も寄与し、当社グループの販売は好調に推移しました。

海外は、アクセス製品を中心としたインターベンショナルシステムズ事業（旧TIS事業）や、血漿イノベーションビジネスの展開加速を受けてグローバルブラッドソリューション（旧血液センター向けビジネス）が拡大、為替も寄与し、前期比15.2%の増収となりました。

日本は、ホスピタルケアソリューション事業の売上が好調に推移し、前期比2.9%の増収となりました。

<利益>

売上総利益は、売上収益の増加を中心に、前期比17.0%増の5,607億円となりました。

調整後営業利益は、売上総利益の増加等により、前期比29.8%増の2,034億円となりました。

営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、売上総利益の増加により、いずれも増益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上収益	555,716	624,357	12.4	7.8
	(海外)	502,054	570,372	13.6	8.6
	(日本)	53,662	53,985	0.6	0.6
メディカルケアソリューションズカンパニー	売上収益	197,569	211,235	6.9	5.7
	(海外)	52,913	61,123	15.5	11.0
	(日本)	144,656	150,111	3.8	3.8
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	168,328	200,280	19.0	14.5
	(海外)	155,774	187,469	20.3	15.5
	(日本)	12,553	12,811	2.0	2.0

<心臓血管カンパニー>

海外は、インターベンショナルシステムズ事業やニューロ事業（旧ニューロバスキュラー事業）を中心に全事業で伸長、為替も寄与し、前期比13.6%の増収となりました。日本は、ニューロ事業やアオルティック事業（旧血管事業）の売上が好調に推移しましたが、公定価格下落の影響もありインターベンショナルシステムズ事業の売上が減少し、前期比0.6%の微増に留まりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比12.4%増の6,244億円となりました。

<メディカルケアソリューションズカンパニー>

日本は、価格政策及び堅調な需要継続を背景に、ホスピタルケアソリューション事業が伸長し、前期比3.8%の増収となりました。海外は、米州を中心に売上収益が増加し、前期比15.5%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比6.9%増の2,112億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

海外は、北米における血漿イノベーションビジネスの展開加速や、欧米での採血関連ビジネスの売上が増加するなど、グローバルブラッドソリューションが好調に推移し、前期比20.3%の増収となりました。日本でも、採血関連製品の売上収益が増加し、前期比2.0%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比19.0%増の2,003億円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産合計は、30億円減少して1兆8,284億円となりました。これは主に、為替相場が円高方向に推移した影響及び減損損失等によりのおれん及び無形資産が430億円減少した一方、事業規模の拡大等により現金及び現金同等物、棚卸資産がそれぞれ170億円、78億円増加、生産設備への投資等により有形固定資産が152億円増加したことによるものです。

負債合計は、445億円減少して4,599億円となりました。これは主に、長期借入金の返済等により社債及び借入金金が570億円減少したことによるものです。

資本合計は、414億円増加して1兆3,685億円となりました。これは主に、当期利益の計上により1,170億円増加した一方で、為替相場が円高方向に推移した影響等に伴うその他の包括利益の計上により102億円減少、自己株式の取得により300億円減少、剰余金の配当により356億円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,330	210,802	64,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,472	△82,481	△1,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,079	△108,766	△46,686
現金及び現金同等物の期末残高	204,883	221,872	16,989

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2,108億円となりました。税引前利益1,546億円、減価償却費及び償却費854億円、減損損失225億円、法人所得税の支払額513億円が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、825億円となりました。生産設備等への投資に伴う有形固定資産の取得による支出686億円、新ITシステムへの投資等に伴う無形資産の取得による支出137億円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,088億円となりました。長期借入れによる収入300億円、社債の発行による収入698億円、デリバティブの決済による収入254億円、長期借入金の返済による支出1,603億円、配当金の支払額356億円、自己株式の取得による支出301億円が主な要因です。

また、上記に加えて、現金及び現金同等物に係る換算差額により26億円減少した結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末より170億円増加して2,219億円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
親会社所有者帰属持分比率(%)	69.3	72.5	74.8
時価ベースの会社所有者帰属持分比率(%)	166.1	221.2	225.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.3	1.8	1.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	85.6	113.0	123.4

(注) 親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式総数により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結財政状態計算書に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

2026年3月期においても、医療需要の増加傾向が継続し、欧米を中心に売上収益の拡大が見込まれます。マクロ環境は、サプライチェーン混乱のリスクが緩和する一方で、原材料価格の高止まりは継続するものと考えます。また、米国における関税政策の動向が流動的であり、先行きは不透明な状況になっています。このような環境下において、業績予想については、売上収益、調整後営業利益において増収増益を見込んでいます。製造現場における生産性の向上、コスト削減策等、市場環境に応じた適切な対策については、今後も継続していきます。高成長が見込まれる分野では、引き続き生産能力の拡大を中心とする設備投資を進める予定です。また、5カ年成長戦略「GS26」の達成に向けて、医療従事者の不足や院内業務効率化の推進等、医療現場の課題に向き合い、新たな価値・ソリューションを提供する事業の拡大・創出に取り組んでいきます。

なお、米国における関税政策の影響については、一定の想定に基づき影響額を推定しているものの、現時点では流動的であることから本業績見通しには織り込んでおりません。

2026年3月期の業績見通しは以下のとおりです。

<連結業績予想について>

(単位：百万円)

	2025年3月期 業績	2026年3月期 業績予想	増減額	増減率 (%)
売上収益	1,036,171	1,050,000	13,828	1.3
調整後営業利益	203,445	214,000	10,554	5.2
調整後営業利益率	19.6%	20.4%	-	-
営業利益	157,668	194,000	36,331	23.0
営業利益率	15.2%	18.5%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	116,978	143,000	26,021	22.2

2025年3月期実績レート；1ドル=153円、1ユーロ=164円

2026年3月期想定レート；1ドル=140円、1ユーロ=160円

（5）利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、高い利益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的に進め、企業価値の一層の増大を図っていきます。これは、株主の皆様への利益に適うものであり、投資価値の増大につながるものと考えております。

株主の皆様への利益分配につきましては、安定した増配に加えて、自己株式取得による還元も活用し、総還元性向として50%水準を目指してまいります。

当期の年間配当金につきましては、1株につき26円とする予定です。従って、期末配当金は、既にお支払いした中間配当金1株につき13円を差し引き、1株につき13円とする予定です。

次期の年間配当金につきましては、1株につき30円（うち中間配当金15円）を予定しております。

《おことわり》

当社の開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上及びグローバルでのルール統一による経営管理の精度向上とガバナンス強化を目的として、2018年3月期期末決算より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

資産	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
流動資産		
現金及び現金同等物	204,883	221,872
営業債権及びその他の債権	178,710	176,854
その他の金融資産	26,158	388
棚卸資産	286,599	294,385
未収法人所得税等	1,337	3,218
その他の流動資産	24,426	26,776
流動資産合計	722,116	723,496
非流動資産		
有形固定資産	415,845	431,078
のれん及び無形資産	588,225	545,243
持分法で会計処理されている投資	2,410	1,927
その他の金融資産	36,368	40,925
繰延税金資産	19,977	31,077
その他の非流動資産	46,458	54,645
非流動資産合計	1,109,286	1,104,897
資産合計	1,831,402	1,828,393

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	93,770	91,029
社債及び借入金	156,870	15,000
その他の金融負債	7,837	7,834
未払法人所得税等	26,467	23,836
引当金	213	242
その他の流動負債	93,992	103,022
流動負債合計	379,152	240,965
非流動負債		
社債及び借入金	74,978	159,838
その他の金融負債	30,824	32,401
繰延税金負債	3,025	5,835
退職給付に係る負債	5,939	6,388
引当金	112	617
その他の非流動負債	10,279	13,809
非流動負債合計	125,159	218,891
負債合計	504,311	459,857
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,752	51,725
自己株式	△12,436	△14,866
利益剰余金	954,679	1,016,160
その他の資本の構成要素	294,379	276,800
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,327,090	1,368,535
資本合計	1,327,090	1,368,535
負債及び資本合計	1,831,402	1,828,393

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上収益	921,863	1,036,171
売上原価	442,688	475,501
売上総利益	479,174	560,670
販売費及び一般管理費	344,979	381,648
その他の収益	10,304	6,592
その他の費用	4,404	27,944
営業利益	140,096	157,668
金融収益	3,529	3,624
金融費用	2,775	6,247
持分法による投資損益 (△は損失)	△20	△470
税引前利益	140,829	154,574
法人所得税費用	34,455	37,595
当期利益	106,374	116,978
当期利益の帰属		
親会社の所有者	106,374	116,978
当期利益	106,374	116,978
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益 (円)	71.50	79.01
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	71.47	78.99

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期利益	106,374	116,978
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	2,487	589
確定給付制度の再測定	16,022	4,861
純損益に振り替えられることのない 項目合計	18,509	5,451
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	133,977	△15,675
キャッシュ・フロー・ヘッジ	296	△9
ヘッジコスト	△341	56
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	133,932	△15,628
その他の包括利益	152,442	△10,176
当期包括利益	258,816	106,802
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	258,816	106,802
当期包括利益	258,816	106,802

(注) 上記の計算書の項目は税引後で開示しております。

（3）連結持分変動計算書

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	合計	
2023年4月1日時点の残高	38,716	51,759	△11,539	874,272	157,855	1,111,063	1,111,063
当期利益	—	—	—	106,374	—	106,374	106,374
その他の包括利益	—	—	—	—	152,442	152,442	152,442
当期包括利益合計	—	—	—	106,374	152,442	258,816	258,816
自己株式の取得	—	△7	△11,100	—	—	△11,107	△11,107
自己株式の処分	—	△109	194	—	△84	0	0
自己株式の消却	—	△9,788	9,788	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△32,020	—	△32,020	△32,020
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	9,866	—	△9,866	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	15,919	△15,919	—	—
株式報酬取引	—	32	219	—	86	338	338
所有者との取引額合計	—	△7	△896	△25,967	△15,917	△42,789	△42,789
2024年3月31日時点の残高	38,716	51,752	△12,436	954,679	294,379	1,327,090	1,327,090
当期利益	—	—	—	116,978	—	116,978	116,978
その他の包括利益	—	—	—	—	△10,176	△10,176	△10,176
当期包括利益合計	—	—	—	116,978	△10,176	106,802	106,802
自己株式の取得	—	△32	△30,003	—	—	△30,036	△30,036
自己株式の処分	—	△256	532	—	△276	0	0
自己株式の消却	—	△26,872	26,872	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△35,626	—	△35,626	△35,626
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	27,069	—	△27,069	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	7,199	△7,199	—	—
株式報酬取引	—	65	168	—	72	306	306
所有者との取引額合計	—	△27	△2,429	△55,497	△7,402	△65,356	△65,356
2025年3月31日時点の残高	38,716	51,725	△14,866	1,016,160	276,800	1,368,535	1,368,535

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	140,829	154,574
減価償却費及び償却費	76,745	85,449
減損損失	3,415	22,461
持分法による投資損益 (△は益)	20	470
退職給付に係る資産及び負債の増減額	769	104
受取利息及び受取配当金	△2,518	△3,492
支払利息	2,065	2,017
為替差損益 (△は益)	780	892
固定資産除売却損益 (△は益)	173	△681
関係会社株式売却益	△1,335	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△16,420	△4,613
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,211	△11,593
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△4,996	1,839
その他	△319	12,813
小計	189,998	260,242
利息及び配当金の受取額	3,307	3,561
利息の支払額	△1,295	△1,708
法人所得税の支払額	△45,681	△51,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,330	210,802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,331	△213
定期預金の払戻による収入	4	1,392
有形固定資産の取得による支出	△60,727	△68,617
有形固定資産の売却による収入	762	2,594
無形資産の取得による支出	△18,047	△13,748
政府補助金による収入	—	976
有価証券の取得による支出	△4,936	△8,769
有価証券の売却による収入	6	4,291
関係会社又はその他の事業の取得による支出	△559	△479
関係会社株式の売却による収入	2,921	—
関係会社の清算による収入	—	92
事業等の譲渡による収入	433	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,472	△82,481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	29,969
長期借入金の返済による支出	△1,325	△160,278
社債の発行による収入	—	69,826
社債の償還による支出	△10,000	—
リース負債の返済による支出	△7,632	△8,029
自己株式の取得による支出	△11,111	△30,051
配当金の支払額	△32,010	△35,622
デリバティブの決済による収入	—	25,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,079	△108,766
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,782	△2,565
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,560	16,989
現金及び現金同等物の期首残高	187,322	204,883
現金及び現金同等物の期末残高	204,883	221,872

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループは、当連結会計年度より以下の基準を適用しております。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	負債の流動又は非流動への分類に関する要求事項を明確化 特約条項付の長期債務に関する情報の開示を要求する改訂

上記基準書の適用による当連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

（セグメント情報）

(1) 報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品

報告セグメント	サブセグメント	主要製品
心臓血管カンパニー	インターベンショナルシステムズ	血管造影用ガイドワイヤー、血管造影用カテーテル、イントロドューサーシース、大腿動脈穿刺部止血デバイス、PTCA用バルーンカテーテル、冠動脈ステント、末梢動脈疾患治療用ステント、超音波画像診断装置、血管内超音波カテーテル 他
	ニューロ	脳動脈瘤治療用コイル・ステント・袋状塞栓デバイス、虚血性脳梗塞治療用吸引カテーテル・除去デバイス 他
	カーディオバスキュラー	人工肺、人工心肺装置 他
	アオルティック	人工血管、ステントグラフト 他
メディカルケアソリューションズカンパニー	ホスピタルケアソリューション	シリンジ（注射筒）、輸液ポンプ、シリンジポンプ、輸液セット、輸液剤、腹膜透析液、鎮痛剤、癒着防止材 他
	ライフケアソリューション	血糖測定システム、ペン型注入器用注射針、インスリンポンプ、電子血圧計、電子体温計 他
	ファーマシューティカルソリューション	プレフィルドシリンジ製剤製造受託、製薬企業向け製品（薬剤充填用シリンジ、医薬品同梱用注射針） 他
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	血液バッグ、成分採血システム、血液自動製剤システム、病原体低減化システム、遠心型血液成分分離装置、細胞増殖システム、原料血漿採取システム 他

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリューションズ カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	555,716	197,569	168,328	921,614	248	921,863
セグメント利益 (調整後営業利益)	123,850	19,789	16,394	160,034	△3,249	156,785
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△9,553	—	△10,642	△20,195	167	△20,028
一時的な損益(注) 2						3,339
営業利益						140,096
金融収益						3,529
金融費用						△2,775
持分法による投資損益						△20
税引前利益						140,829
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	37,361	16,769	20,697	74,828	1,916	76,745
有形固定資産及び 無形資産の増加額	41,536	15,634	17,256	74,427	3,999	78,426

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額248百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△3,249百万円には、棚卸資産の調整額△1,370百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△2,831百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益3,339百万円には、受取和解金3,385百万円、オリンパステルモバイオマテリアル株式会社の株式売却に伴う関係会社株式売却益1,335百万円、事業再編費用△2,338百万円、条件付対価の公正価値変動453百万円等が含まれております。
3. 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メデイカル ケアソリュー ションズ カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	624,357	211,235	200,280	1,035,873	298	1,036,171
セグメント利益 (調整後営業利益)	154,682	22,993	26,482	204,158	△712	203,445
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△10,145	—	△11,233	△21,378	△151	△21,530
一時的な損益(注) 2						△24,247
営業利益						157,668
金融収益						3,624
金融費用						△6,247
持分法による投資損益						△470
税引前利益						154,574
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	42,412	19,600	23,950	85,962	△513	85,449
有形固定資産及び 無形資産の増加額	44,441	18,828	18,152	81,422	2,686	84,109

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額298百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- セグメント利益の調整額△712百万円には、棚卸資産の調整額2,305百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△2,437百万円等が含まれております。
- 一時的な損益△24,247百万円には、注記事項「(非金融資産の減損)」の(1)から(5)を含む減損損失△17,858百万円、注記事項「(非金融資産の減損)」の(5)に関する費用△3,155百万円、カーディオバスキュラー事業における事業ポートフォリオ見直しに伴う費用△1,615百万円を含む事業再編費用△7,521百万円等が含まれております。
- 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

(1株当たり情報)

当社の普通株主に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益(百万円)	106,374	116,978
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	106,374	116,978
期中平均普通株式数(株)	1,487,841,999	1,480,540,916
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	561,416	394,721
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	1,488,403,415	1,480,935,637
基本的1株当たり当期利益(円)	71.50	79.01
希薄化後1株当たり当期利益(円)	71.47	78.99

- (注) 1. 基本的1株当たり当期利益は、親会社の普通株主に帰属する当期利益を、連結会計年度中の発行済普通株式の加重平均株式数により除して算出しております。
2. 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「基本的1株当たり当期利益」及び「希薄化後1株当たり当期利益」を算定しております。

(非金融資産の減損)

当連結会計年度に認識した減損損失22,461百万円は、主に以下の理由によるものです。

(1) 米州でのインターベンショナルシステムズ事業に関する開発の一部中止

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の製品の開発の中止を決定したことにより、減損損失6,211百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。当該減損損失の内訳は開発資産5,007百万円、建設仮勘定609百万円、のれん593百万円です。当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

(2) 欧州でのインターベンショナルシステムズ事業に関する一部事業の中止

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の事業の中止を決定したことにより、減損損失5,290百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。当該減損損失の主な内訳はのれん3,124百万円、その他の無形資産1,406百万円、ソフトウェア543百万円です。当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

(3) 製薬会社との新規受託製造プロジェクトの中止

当連結会計年度において、血液・細胞テクノロジーカンパニーに属する製薬会社との新規受託製造プロジェクトの中止を決定したことにより、製造設備について減損損失2,486百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。主に建設仮勘定について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

(4) 中国でのインターベンショナルシステムズ事業に関する一部事業の収益性悪化

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の事業の収益性が悪化したことにより、減損損失1,882百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、過去の経験及び外部からの情報を反映し、販売予測や市場シェア等を加味した、経営者が承認した今後9年分の事業計画を基礎としたキ

キャッシュ・フロー見積額を現在価値に割引いて算定しております。なお、キャッシュ・フローの予測期間は5年超となっておりますが、その基礎となる事業計画は、個々の製品の販売計画を現在の市場規模や競合他社の状況等を考慮して策定した上で、それを積み上げて作成しております。そのため、キャッシュ・フローの予測に信頼性があり、過去の経験に基づいて長期間にわたって正確に予測できると判断しております。また、減損テストの判定に使用した割引率（税引後）は10.7%です。のれんについて認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（5）欧州でのインターベンショナルシステムズ事業に関する一部の工場閉鎖

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の工場閉鎖を決定したことにより、減損損失1,545百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。当該減損損失の主な内訳は機械装置891百万円、建設仮勘定627百万円です。当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（6）米州でのカーディオバスキュラー事業に関する開発の一部中止

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部の製品の開発の中止を決定したことにより、減損損失1,244百万円を計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。開発資産について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれております。

（重要な後発事象）

当社グループは、医薬品開発製造受託（CDMO）企業のWuXi Biologics社（ウーシー・バイオロジクス社）と、同社がドイツレバークーゼンに有する薬剤製品工場を、150百万ユーロ（約246億円）で買収することを合意し、2025年5月14日に譲渡契約を締結しました。本買収は2026年3月期での完了を見込んでおります。

当社グループは、薬剤に適した素材を用いた薬剤充填用シリンジ等の容器ならびに投与デバイスを開発するとともに、高度な製造技術を活かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトのCDMO事業を手掛けており、同事業のグローバル化を今後の成長戦略の一つとして位置付けております。

今回の買収で取得する薬剤製品工場を、当社グループとして初となる海外のCDMO生産拠点として活用することにより、生産キャパシティの拡充ならびにグローバル対応力の強化を図り、CDMO事業のグローバル展開を加速させます。

取得する薬剤製品工場の概要は以下のとおりです。

所在地：ドイツノルトライン・ヴェストファーレン州レバークーゼン

敷地面積：13,000㎡

事業内容：バイアル製剤の開発製造受託（工場取得時）

4. その他

生産、受注及び販売の状況

[1] 生産実績

報告セグメント	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	620,897	7.7
メディカルケアソリューションズカンパニー	197,076	2.2
血液・細胞テクノロジーカンパニー	205,673	18.8
合計	1,023,648	8.6

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 報告セグメントに含まれる製品は、14ページ「各報告セグメントの主な製品」をご覧ください。

[2] 受注実績

当社グループは主として見込み生産を行っているため、受注実績の記載をしておりません。

[3] 販売実績

報告セグメント	サブセグメント	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	インターベンショナルシステムズ	406,281	11.5
	ニューロ	97,197	16.9
	カーディオバスキュラー	67,347	8.4
	アオルティック	53,530	16.4
メディカルケアソリューションズカンパニー	ホスピタルケアソリューション	145,265	8.0
	ライフケアソリューション	21,360	△6.8
	ファーマシューティカルソリューション	44,609	11.3
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	200,280	19.0
調整額		298	19.8
合計		1,036,171	12.4

(注) 調整額298百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。